

若い世代の活躍、新たなまちづくりのリーダーに期待

『長崎伝習所』は、幕末に多くの人材を輩出した「海軍伝習所」「医学伝習所」などに由来し、昭和 61 年に設立して以来、人材のネットワークづくりと地域の活性化につながる人材育成の場として、様々な取組みを行ってきました。

長崎伝習所の柱である『塾事業』では、長崎を魅力ある元気なまちにするために市民と行政が力を合わせて活動を行い、設立 38 年目となった今年度、累計 306 の塾による様々な活動が行われ、卒業した塾生の総数は延べ 10,328 人となりました。これら塾の中には、卒業後もそれぞれで活動を続け、「市民力」を発揮しながら、長崎のまちづくりに貢献していただいています。

令和 5 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による制約もなくなり、ようやく従来と同じように活動ができるようになった中で、長崎で 5 つの塾、東京で 1 つの塾が活動しました。

「ながさき山城・砦 探検魅力発信塾」では中近世の山城の魅力を発信し観光資源として活用を、「コッキル日韓未来塾」では住民目線で長崎の魅力を韓国に発信し国際交流や観光の盛り上げを、「長崎のりもの塾」では長崎のバスの魅力やバスの車窓から望む長崎の魅力発信を、「Bar の楽しみ方塾」では誰もが Bar に行きたくなるパンフレットの作成等を通じた繁華街の振興を、「長崎スコットランド交流塾」では長崎とスコットランドの交流の歴史を紐解きながら国際交流を、「渋谷・長崎歴史文化情報発信塾」では長崎で生まれ江戸時代後期から明治時代に活躍した偉人の東京での足跡に関する情報発信を、それぞれテーマとして調査、研究され実践活動に取り組んでいただきました。特に今年は若い世代の塾長も多く、これからもまちづくりのリーダーとして活躍していただくことを期待しています。

長崎伝習所では、令和 6 年度は従来の塾事業に加えて、より多くの若い世代の参画を目指し、まちづくりにチャレンジする若者を応援する補助金の整備や、若者が地域や社会に目を向けて行動するきっかけとなるよう、先進的な取組みでご活躍されている方々をお招きした講座などを企画しており、引き続き時代の変化に対応した事業に取り組んでいきたいと考えております。

最後になりましたが、塾長をはじめ塾生の皆さまのご努力と、お忙しいなかご指導いただきました運営委員の皆さま、並びに、長崎伝習所の活動にご協力をいただきましたすべての皆さまに対しまして、心から厚く御礼申し上げます。



長崎伝習所 総長 鈴木 史 朗